

令和5年度 松本市性の多様性講座

性の多様性講座に当たり

性の多様性学習は「人権教育」です。これは周知のとおりですが、性的マイノリティを理解することだけでは「性の多様性」を認め合える学級集団（共生社会）を作ることにはできません。自分を「多様性」の中の一つとして位置づけ、自分自身を含む「性の多様性」を学ぶことが必要です。

そのために低学年では、性の多様性を学ぶ基盤として違いを認め合える学習を設定しました。違いを認め合えることが性の多様性を認め合うことにつながり、共生社会を作っていく基盤になるということです。

担任の先生方をはじめ学校の先生方には、人と違って良いこと、違いを認め合える学習が性の多様性の学びにつながる事を理解していただき、この講座をきっかけに日常の学校生活の中で児童の言葉を拾い、違いを認め合える集団を育てていって欲しいと願います。日常とつながっていることが性の多様性の学習です。

（*参照「性の多様性」を学ぶことの大切さ 渡辺大輔氏 埼玉大学基盤教育研究センター）

絵本『りつとにじのたね』を活用した低学年講座

*参照 SEXUALITY 108号 公立小学校教員 塩田 井久美さんの実践
「自分らしさ・その人らしさ」を尊重できる子どもの育成

かわいいものが大好きなくまの男の子「りつ」を通して、性別の枠にとらわれず、人と違っていても好きなものを好きと言っていいこと、そしてその違いを認め合えることの素晴らしさを伝えることを主たるねらいとしました。

特に、女子の服装とされているスカートをはく「りつ」や女子が得意と思われがちなお裁縫が得意な「りつ」は、子どもたちの性別に対する思い込みを揺さぶってくれることでしょう。「りつ」を通して、自分の好きなものや得意なことは性別とは関係なく、「自分らしくて、その人らしくていいんだ」と認識が変わっていくことを願っています。

1 題材名 「自分らしくていいんだよ」

2 ねらい

- 絵本の読み聞かせを通して、互いの違いを認め合い「自分らしさ・その人らしさ」が大切だと感じ取ることができる。
- にじのたねの色塗りを通して、自分らしさの一部を考え、表現することができる。

3 本時の展開

学習活動	講師による講座の進め方・支援	資料
1 絵本「りつとにじのたね」の読み聞かせを聞く。	○「絵本」の読み聞かせに入っていく。 ○絵本の世界に入り込んでより内容に共感できるようにする。（ゆっくり読んで4分） ○にじの国のチウから、にじのたねを受け取ったところまで読み聞かせをする。	パワーポイント
2 ここまでのお話	○ここまでのストーリーをパワーポイントで見ながら	

<p>を振り返る。</p>	<p>大まかにおさらいする。</p> <p>(1) 「りつはどんなくまか。」</p> <p>りつ→</p> <ul style="list-style-type: none"> • かわいいものが大好きな男の子。 • 花が好き。 • スカートをはいている。 <p>「くまの国」では外見や趣向が周囲の友達と違うことからいじめられていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 男のくせに花が好きなんて変。 • スカートををはきたいなんておかしい。 • 先生もだれも助けてくれない。 <p>(2) それぞれの国でりつはどうだったのか。</p> <p>「くろの国」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 黒色じゃない。仲間外れにされた。 <p>「つんつんの国」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毛がつんつんじゃない。仲間外れにされた。 <p>みんなと同じじゃないから仲間はずれにされた。</p>	
<p>3 「にじのくに」の具体的なすばらしさに気付く。</p>	<p>(3) 「にじの国」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 誰もが大事にされる国。 • 違うことは素敵なこと。 • ずっと ここにいて いいんだよ。 <p>○りつの気持ちの変化を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ぼくはぼくのままでいい。 	
<p>4 後半の続きの読み聞かせを聞く。</p>	<p>○ゆっくり後半部分の読み聞かせを行う。(2分)</p> <p>○にじの国でりつは、お土産ににじのたねをもらい、くまの国に戻ることを決めた。</p>	
<p>5 くまの国に戻った同級生の変化をみんなで共有する。</p>	<p>○「くまの国」に戻ったら・・・。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シャツが破れて泣いているソラタ。 • にじのたねを握りしめると手のひらが温かくなって勇気がわいてきた。 • 破れたシャツを直した。 	

<p>6 自分のにじのたねを書く。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 違うことはすてきなことだとわかってもらえた。 • お礼に花壇を作ってもらえた。 • みんなが笑顔になってうれしそう。 </div> <p>○りつがにじのたねを握りしめると手のひらが温かくなって勇気がわいてきたのはどうしてだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> • 発言できる児童がいたら発言してもらおう。 • (発言者がいなくても) それぞれが思ったことが正解で、答えは一つではないこと伝える。 • もし書ける人がいたら書いてみてください。 • 自分らしいにじのたねを書いてみよう。 • 種のかたちは自由に変えていいこと。文字や絵を描いてもいいことを伝える。 • 書けない児童がいてもよい。 <p>○「違いがあることはすばらしいこと」「自分の好きなものや得意なことは、性別に関係ないし、人と違っていいこと」「みなさんのクラスや学校がにじの国になるといいこと」「自分らしさ、その人らしさを大切にできるといいこと」を講師から伝える。</p>	<p>学習カード</p>
<p>7 絵本「りつとにじのたね」を最初から通して読む。</p>	<p>○内容を振り返られるよう、ゆっくり読む。</p> <p>○皆さんのにじのたねがすてきな花を咲かせ、クラスや学校がにじの国になるといいですね。</p>	
<p>8 まとめをする。</p>	<p>○今日の学習の感想を書こう。</p>	<p>学習カード</p>

※準備品

- 学習カード（児童の人数分印刷・配布）
 - 筆記用具
 - 色塗りができるもの（クーピー、クレヨンなど）
 - 探検バッグ
- （教室以外で行う場合、上記の持ち物を探検バッグに入れて講座に参加するようにします。）



しょうがっこう
小学校

「りつとにじのたね」

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

じぶんらしい にじのたねを かいてみよう！

たねのかたちは すきなかたちに していいよ。

りつが にじのたねを にぎりしめると あたたかくなって ゆうきがわいてきたのは
どうしてだろう？

*おもったことや感じたこと、もっと知りたいことなどを書きましょう。

令和5年度 松本市性の多様性講座

性の多様性講座に当たり

性の多様性学習は「人権教育」です。これは周知のとおりですが、性的マイノリティを理解することだけでは「性の多様性」を認め合える学級集団（共生社会）を作ることではできません。自分を「多様性」の中の一つとして位置づけ、自分自身を含む「性の多様性」を学ぶことが必要です。

そのため、低学年では、性の多様性を学ぶ基盤として違いを認め合える学習を設定しています。

高学年講座では、違いを認め合い、誰もが多様な性を構成する一員であることを理解するきっかけとなるよう、性的指向（好きになる性）は異性とは限らないことを伝える絵本の読み聞かせを設定しました。『誰を好きになってもいいんだよ』といった、さまざまな性的指向を対等においた学びの機会は重要です。動物の世界では同性カップルがたくさん存在します。こうした事実から人の性も性的指向や性自認（こころの性）等も含め、多様であることが分かり、多様な性を生きる自分に気づき、お互いの自分らしさを大切にできる授業展開を考えました。

低学年同様、この講座だけで終わるのではなく、本講座を契機に性別二元論（性別は男女だけ）や異性愛規範から抜け出し、日常生活の中で違いを認め合い、個人を大切にできる集団を目指して欲しいと願っています。

（*参照「性の多様性」を学ぶことの大切さ 渡辺大輔氏 埼玉大学基盤教育研究センター）

絵本『タンタンタンゴはパパふたり』を主に活用した高学年講座

ペンギンのロイとシロは、オス同士仲良しで愛し合っている関係です。飼育員グラムジーさんの気づきから、ロイとシロは卵を温め、タンゴが誕生します。タンゴの絵本を通して、子どもたちは、二羽の関係性から性的指向は異性とは限らないことを違和感なく理解できるでしょう。この絵本は科学的根拠に基づく実話であり、説得力もあります。タンゴの絵本の世界に浸り、動物の世界では同性カップルがたくさん存在することも合わせて紹介することで、人間の同性カップルも自然な形で肯定できることをねらいとしています。

また、動画『みんなすっごくいいね！』の視聴を通して、性的指向以外にも人の性は多様であることを知り、お互いの自分らしさを大切に尊重し合える姿勢が、すべての子どもたちの中に育っていくことを願っています。

1 題材名 「タンタンタンゴはパパふたり」・「みんなすっごくいいね！」

2 ねらい

- 同性カップルは動物の世界では沢山見られ、人間も同じであることが分かる。
- タンゴの絵本を通して、人間の同性カップルを肯定できる。
- 動画視聴を通して人間の性も多様であることが分かり、お互いの自分らしさを大切にしようと思える。

3 本時の展開

学習活動	講師による講座の進め方・支援	資料
1 絵本『タンタンタンゴはパパふたり』の前半の読み聞かせを聞く。	○講師の自己紹介 1 絵本を読み聞かせ。（12ページまで） *「この絵本の出来事はすべて本当のことです。」と説明してから読み聞かせを始める。 ○12ページでいったん止める。	パワーポイント
2 前半を振り返る。	2 ここまでを振り返る。 *児童に質問を投げかけ、声を拾っていく。 ○「ロイ」と「シロ」の関係について尋ねる。 「男の子のペンギンの「ロイ」と「シロ」はどんな関係ですか？」	12頁で止めたまま

<p>3 後半の絵本の読み聞かせを聞く。</p>	<p>「とても仲良しで愛し合っている関係です。」 「2羽は、おじぎをするのも、歩くのも歌うのも、泳ぐのも、どこへいくのも仲良くいっしょでした。」</p> <p>○飼育係のグラムジーさんについて尋ねる。 「そのことに気づいたのはだれですか？」 「飼育係のグラムジーさんですね。」 「私たちは外から見ただけでは、オスペンギンかメスペンギンか区別がつかないです。ですからロイとシロが愛し合っているもオス同士とは気が付かないかもしれません。でも、飼育係のグラムジーさんはオス同士だとわかっており、愛し合っていることに気づいてくれたのです。」 「飼育係のグラムジーさんは『この子たちはきっと愛しあっているんだ』とロイとシロをありのままに受け入れ、他のペンギンたちと同じように優しく見守ってくれています。」 「そして、ロイとシロは我が家を作りました。」 「さあ、その後ロイとシロはどうなったのでしょうか。後半を読みます。」</p> <p>3 13頁からの後半を読み聞かせ。 *途中、15頁介入 赤ちゃんペンギンがいません。どうしてかな？ 「オス同士だから。」</p> <p>*18頁介入 ロイとシロは一生懸命毎日石を温め続けました。でも何も起きません。ロイとシロはきょとんとした顔をしているね。 どうして何もおきないの？ 「石だから。」</p> <p>○読み終わり、少し余韻に浸る。 同性カップルのロイとシロ、そしてタンゴの家族に何ら違和感なく読み聞かせを聞いてもらえたことを確認する。 「オス同士のカップルのロイとシロ、そしてその子どものタンゴのお話を聞いてくれたみなさん、ありがとうございました。」</p> <p>○パパ二人のタンゴの家族は、仲良く暮らし幸せに生きていること、動物園を訪れた大勢の人たちもロイとシロ、タンゴの家族が大好きで、人間からも愛されていることを文章から確認する。 「ロイとシロ、タンゴの家族は仲良く幸せに暮らしていましたね。他のペンギン一家、他の動物一家と同じように。」 「そして、動物園を訪れた大勢の人たちもロイとシロ、タンゴの家族が大好きで、みんなからも愛されていましたね。」</p> <p>○「タンタンタンゴはパパふたり」のお話は実際にあったお話です。みなさんはどんなことを感じましたか？」と言葉を投げかけ、可能であれば2、3人から感想を発表してもらおう。 *感想の内容によっては、講師がコメントを付けるとよい。</p>	<p>10頁を映す</p> <p>11頁を映す</p> <p>12頁を映す</p> <p>27頁を映す</p>
--------------------------	---	---

<p>4 同性カップルは他の生き物にもあることを講師の説明から知る。</p> <p>5 人間の世界も生き物と同じように同性愛があることがわかる。</p>	<p>○『作者のあとがき』を読んで紹介する 「作者の思いを聞いてください。」</p> <p>○「ここまではペンギンのお話でした。次に他の生き物のメス同士、オス同士のカップルのお話をします。」</p> <p>4 「メス同士、オス同士のカップルは動物園にいるペンギンの「ロイ」と「シロ」だけではなく、他の生き物にもいるそうです。観察している研究者がいて、自然界の1500種にメス同士、オス同士で愛し合う同性愛行動が確認されているそうです。」</p> <p>○他の生き物についてパワーポイントで一枚ずつ見ていく。</p> <p>5 「他の生き物のメス同士、オス同士のカップルについて見ていきました。生き物の世界ではメス同士、オス同士で愛し合い、カップルになることが沢山あることが分かりました。では、ここからは私たち人間の世界を考えてみましょう。」 「私たち人間の世界はどうでしょうか。みなさん、どう思いますか？」</p> <p>○児童の声を拾う。 反応がなければそのまま講師の説明で進める。</p> <p>○「人間も動物であり、他の生き物と同じように、女の人同士、男の人同士で愛し合うことはあることです。」</p> <p>○パワーポイントを見ながら好きになる性・好きにならない性について説明をする。 「好きになる性・好きにならない性 いろいろです。」</p> <p>○「4年生、5年生、6年生の皆さんは人を好きになったことはありますか？あるという人もいれば、ないという人、そんなことに興味はないという人もいるでしょう。みんなそれぞれですね。これから成長していくと、好きになる気持ちが出てくるかもしれません。出てこないかもしれません。」</p> <p>○「好きになる性・好きにならない性」について説明。 ・女の人が 男の人を好きになる。 ・女の人が 女の人を好きになる。 ・女の人が 男の人でも女の人でも好きになる。 ・男の人が 女の人を好きになる。 ・男の人が 男の人を好きになる。 ・男の人が 女の人でも男の人でも好きになる。 ・好きにならない人もいる。</p> <p>○「好きになる相手の性別はいろいろです。好きにならない性もあります。人と違ってよいのです。それは自分らしさの一つです。」</p>	<p>31頁 あとがきの パワーポイント</p> <p>・とんぼ ・アホウドリ ・イルカ ・キリン ・オオカミ ・ボノボ (サル)</p> <p>パワポ 好きになる性・好きにならない性</p> <p>パワポ 言葉</p>
--	---	--

<p>6 動画を視聴し、多様な性について知る。</p>	<p>6 動画『みんな、すごくいいね!』を視聴。</p> <p>○多様な性について知る。 「それぞれ人の数だけ『その人らしさ』があります。性別のあり方も人の数だけあります。自分らしさ、その人らしさを大事にしたいですね」。</p>	<p>動画</p>
<p>7 まとめ感想を書く。</p>	<p>7 学習カードにまとめ感想を書く。</p>	<p>学習カード</p>

※準備品

- 学習カード（児童の人数分印刷・配布）
- 筆記用具
- 探検バッグ

（教室以外で講座を行う場合、上記の持ち物を探検バッグに入れて講座に参加するようにします。）

中学生講座 学習展開案
「性の多様性ってなんだろう？」

1. 指導目標

互いが互いを尊重する姿勢について多様な性を切り口として学習する。

2. 展開

学習活動	指導上の留意点	主な発問
1 ワークシートへの記入	<p>・様々な違いについて、割合に関する質問をクイズ形式で実施 (利き手、血液型など) 記入後は手元で保管</p>	<p>・今日は「多様性」のお話をしました。 みなさんの周りにも様々な違いがあると思います。</p>
2 男女の割合に対する問いかけ	<p>・イラストを見てキャラクターの性別を判断してもらう。 男性らしさ、女性らしさをどのような基準で判断しているかを意識する</p>	<p>・男性と女性の割合はそれぞれどれくらいだと思いますか。 みなさんは何を基準に男性と女性を判断しているのでしょうか</p>
3 A T T K動画視聴		
4 パワーポイント資料を用いた振り返りと問いかけ		<p>・今まで自分がもっていたイメージを踏まえて、どのようなことを感じ、考えましたか？ もし友人や家族などから、セクシャルマイノリティであると打ち明けられたら、どのような言葉をかけますか？</p>
5 事後アンケートへの記入	<p>・無理して記入しなくてもよいこと、他の生徒に見えないようにすることを伝達</p>	